

## 2023年度 独創的研究助成費 実績報告書

2024年3月26日

報告者	学科名	子ども学科	職名	助教	氏名	児玉 太一
研究課題	美術表現におけるヴァリエーションの研究					
研究組織	氏名	所属・職	専門分野	役割分担		
	代表	児玉太一	子ども学科・助教	版画・映像	代表	
研究実績の概要	<p>本研究では国際コンペティションと国際展招待出品による作品発表と作品制作による活動を中心に、これら実践での活動経験を資源としたプロセスについての執筆を行った。作品はフランス・エピナルで開催の「Kitchen Print Biennale」での Mention Concept の受賞をはじめ、スペイン・バルセロナで開催の「On PAPER Contest」での最優秀賞受賞など、助成を取得した期間内において欧州を中心に14のコンペティションでの入選を果たし、内5件の受賞結果を得た。中でもブルガリア・ソフィアで開催の「9th International Triennial of Graphic Arts - Sofia」2023」では、2024年3月にも受賞作品がソフィア市内のギャラリーで再展示され、グランプリ受賞に伴って、2026年第10回を迎える同コンペティションにおいて自身の個展が予定されている。6月にはドイツ・フレッヘンでの作品展示も確定しており、発表活動は今後益々拡張していく予定である。</p> <p>これら多数の成果を可能にしているのは、自身の作品シリーズのヴァリエーションを支える、システムチックなイメージの構築のプロセスにあるといえる。作家の天才性や創造的な才能によるものと考えられてきた美術作品の制作において、如何に機械的なプロセスが関与しているのか、既にロザリンド・クラウスがマックス・エルンストやピカソの制作プロセスから明らかとし言及している。筆者自身も今年度、自身に蓄積された身体的な経験とその制作プロセスについて、作品シリーズ Graftage を取り上げ、日本基礎造形学会作品集032においてそのプロセスから生ずるヴァリエーションについて論述を試みた。Graftage では、他の作品でも実践している「イメージの組み合わせ」、「同一版の転用」と「色彩、もしくは透明度の変更」に加えて、「イメージのトリミング」と「露光時間の変更によるヴァリエーション」「版を回転しての刷り」という、いくつものシステムチックな制作上の行為によって作品が成立している。この、わずかずつの行為の違いによって作品が構築されていく作品のヴァリエーション自体が、筆者の作品制作にとって必要不可欠な営為である。</p> <p>シリーズは Graftage を含め概ね、5種のシリーズに分岐しており、今後、各作品におけるプロセスを明らかとすると共に、自身の経験を介したヴァリエーションについての研究活動を継続の予定としている。</p>					

※ 次ページに続く

成果資料目録	<p>学術論文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 児玉太一「木々の写真を素材としたシルクスクリーン作品によるヴァリエーションの展開」『基礎造形』032号, pp.134-135 2024年2月28日</li> <li>2) 児玉太一, 小林伸行, 高橋功「平面像の立体像化を目的とした錯視表現ツールの開発」『岡山県立大学教育研究紀要』第8巻1号, pp30-39 2024年3月7日</li> </ol> <p>国際コンペティション (一部抜粋)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) “I International Mini Print Adolfo Pérez Esquivel” Cangas do Morrazo councils (ポイオ, スペイン) 2023年5月12日~6月11日</li> <li>2) “Kitcnen Print Bieenial Exhibition” 場所:Center culturel de la Ville d’Épinal, (エピナル, フランス)期間:2023年7月13日~29日, Mention Concept 受賞</li> <li>3) “9<sup>th</sup> ANNUAL ON PAPER INTERNATIONAL PRINTMAKING CONTEST 2023” Tinta Invisible (バルセロナ, スペイン) ” 期間:2023年7月6日~30日, On PAPER Award (最優秀賞) 受賞</li> <li>4) “4<sup>th</sup>International Print Biennale, Yerevan 2023” the Museum of the National Centre for Aesthetics (エレバン, アルメニア)</li> <li>5) “アワガミ国際ミニプリント展 2023” 阿波和紙伝統産業会館, 徳島 2023年10月3日-2023年11月12日, 賞候補</li> <li>6) “Hommage à trois 2023” Sant Carles de la Ràpita (バルセロナ, スペイン) 2023年10月26日~11月12日, Second Prize 受賞</li> <li>7) “第12回高知国際版画トリエンナーレ展” いの町紙の博物館 (高知) 2023年10月7日~12月3日</li> <li>8) “9<sup>th</sup> International Triennial of Graphic Arts - Sofia 2023” Union of Bulgarian Artist’s Exhibition Gallery (ソフィア, ブルガリア) 2023年12月5日 ~2024年1月31日, Grand Prix 受賞</li> <li>9) “Printcard Wrocław -Migrations” Szkłem Gallery (ヴロツワフ, ポーランド) 2024年2月26日~2024年3月13日</li> <li>10) “20th Germen International Exhibition of Graphic Art Frechen” Town Hall of Frechen (フレッヒェン, ドイツ) 2024年6月22日~2024年7月24日(予定)</li> </ol> <p>企画展 (一部抜粋)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) “O. R. I. E. N. T” Museum of Art Cluj -Napoca (クルジュ=ナポカ, ルーマニア), 2023年10月4日~22日</li> <li>2) “Sadaemun International Artist Community Exhibition” 全州郷校文化館・展示室 (全州市, 韓国) 2023年10月15日~29日</li> <li>3) “Contemporary graphic art from ASIA” The Mission Gallery (ソフィア, ブルガリア) 2024年3月7日~26日</li> </ol>
--------	--